

令和 8 年 10 月 23 日
国土交通省関東地方整備局
企画部
関東技術事務所

「遠隔施工講習」を開催

～遠隔施工技術を実際に体験・習得したい方を募集します～

i-Construction2.0 の策定を踏まえた遠隔施工の推進、並びに災害発生時における応急復旧作業等に用いられる、遠隔施工技術及び関連知識の習得を目的とした講習を開催します。

【募集概要】

- ・ 募集対象：建設会社等における技術者（建設機械オペレータ等）
- ・ 募集期間：令和 8 年 10 月 23 日（金）～11 月 18 日（水）17:00 まで
- ・ 申込方法：別紙をご参照ください。

【講習概要】

- ・ 開催日程：令和 8 年 11 月 25 日（水）、26 日（木）、27 日（金）
定員は各日 24 名で、各回の講習内容は同一です。
（申し込み多数の場合は災害協定会社を優先させていただきます）
- ・ 開催場所：関東 DX・i-Construction 人材育成センター
（千葉県松戸市五香西 6-12-1 関東技術事務所構内）
- ・ 講習内容：(1)i-Construction 2.0 について
(2)緊急時の遠隔施工の対応、遠隔施工導入に関する留意点
(3)遠隔操縦式バックホウの概要、操作実習
(4)簡易遠隔操縦装置の概要、操作実習
- ・ 講習費用：無料
- ・ そ の 他：本講習会は、CPDS の研修プログラムとして認定を受ける予定です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部（講習全般に関すること）

電話：048-600-1347 FAX：048-600-1389

建設情報・施工高度化技術調整官 金澤（かなざわ）（内線：3132）

施工企画課 課長補佐 服部（はっとり）（内線：3457）

関東地方整備局 関東技術事務所（実施施設・操作する建設機械に関すること）

電話：047-389-5121（代表） FAX：047-389-5159

副所長 宇野（うの）（内線：205）

施工調査・技術活用課長 牧島（まきしま）（内線：381）

遠隔化にもつながる！

遠隔施工講習

建設機械の遠隔操作を、
実機で体験できる1日講習

事前登録制	日程	時間
第1回	11月25日（水）	10:00-16:15
第2回	11月26日（木）	10:00-16:15
第3回	11月27日（金）	10:00-16:15

※各回の実施内容は、同一です。
※関東地整HP(下記URL及び二次元コード)より事前登録してください。

募集定員：各回24名程度

開催場所 関東技術事務所 **参加無料！**
松戸市五香西6-12-1

**対象者：建設会社等における技術者
(建設機械オペレータ等)**

～遠隔施工技術を体験・習得したい方へ～

開催日：2026年11月25日・26日・27日

遠隔操作の実習内容

直接目視による遠隔操作



遠隔操作室（対策本部車）から
Wi-Fiによる遠隔操作



簡易遠隔操縦式
バックホウの操作



リモコンによる操作や、
直接目視とモニター越し
からの感覚の違いなどを
実体験！

※本講習はCPDS研修
プログラムの認定を
予定してます



講習内容

- ・遠隔操縦式バックホウの操作【実習】
- ・簡易遠隔操縦装置による操作【実習】
- ・i-Construction2.0について【座学】
- ・緊急時の遠隔施工対応【座学】

受付開始

●10/23(金) 14:00～

https://www.ktr.mlit.go.jp/dx/icon/iconst_00023.html

申込みはコチラ！



【お問い合わせ】
関東地方整備局 関東技術事務所
施工調査・技術活用課（ICT担当）
TEL：047-389-5124

関東
DX・i-Construction 
人材育成センター

タイムスケジュール（案）

[illegible]

座学講習内容

座学講習では「i-Construction 2.0」や「緊急時の遠隔施工対応」、「遠隔施工導入に関する留意点」を学びます。

また、様々な現場での活用実績をまとめた「事例動画」の視聴により、災害対応だけでなく今後の活用について知識を身につけます。

遠隔施工の導入メリット

安全性の向上

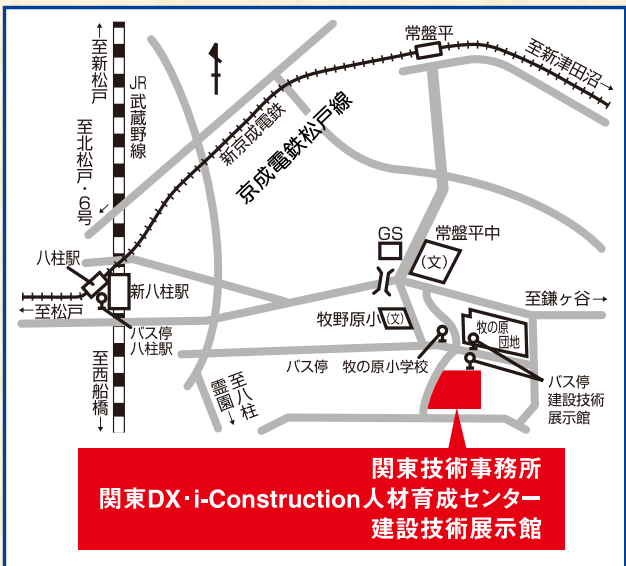
崩落の危険がある災害復旧現場や高所など、オペレータが危険な場所へ立ち入ることなく作業が可能。二次災害の恐れがある緊急時でも、被災直後から早期に工事や土砂撤去に着手でき、社会インフラの早期復旧につながる。

労働環境の改善

安全な現場詰所やオフィスからモニター越しに操作できるため、騒音や悪天候、振動などの肉体的負担やストレスが大幅に軽減。
また、一人のオペレータが複数の現場や機械を操作することにより省人化が図れます。

■開催場所までのアクセス

※公共交通機関をご利用下さい。事情によりお車で来られる方は乗り合わせをお願い致します。



①東京 JR 京葉線快速 (武蔵野線直通) 新八柱
 ②東京 JR 山手線 / JR 常磐線 京成松戸線 上野 松戸 八柱
 JR 山手線 / JR 常磐線 京成松戸線
 京浜東北線
 バス
 牧の原団地行 約 8 分 建設技術展示館 徒歩 2 分
 運行間隔 約 10 分
 バス
 関東技術事務所

【交通】

JR武蔵野線 新八柱駅
京成松戸線 八柱駅 下車

京成バス千葉ウエスト②番乗り場
牧の原団地行き『建設技術展示館』下車

徒歩2分

